



ご寄附の方法

①所定の払込取扱票を使用する（手数料は区が負担）

お近くの郵便局（ゆうちょ銀行）でお手続きください。
払込取扱票付きリーフレットは、区民事務所等の区立施設に設置しています。お近くにない場合は、児童青少年課までご連絡ください。©SUGINAMI CITY

②インターネットから申し込む

ふるさと納税サイトをご利用いただけます。
右記の二次元コード（区公式ホームページ）からお手続きください。



区公式ホームページ

③現金による寄附、その他の金融機関から振り込む

児童青少年課までお問合せください。
金融機関からのお振込みは、振込手数料をご負担いただく場合があります。

ご寄附をしていただくと

その1 税制上の優遇措置があります

個人	ふるさと納税として取り扱われます。 寄附金額から2,000円を差し引いた額について、所得税・住民税から限度額まで原則として全額控除されます。 ※杉並区は、地方税法（第37条の2第2項及び第314条の7第2項）の規定に基づき、総務省からふるさと納税の対象となる団体として指定されています。
法人	ご寄附いただいた事業年度に、全額を損金に算入することができます。
相続	相続や遺贈によって取得した財産を寄附した場合は、その支出は相続税の対象外とする特例があります。

※詳細は、杉並区次世代育成基金のリーフレットをご覧ください。

その2 お名前を公表させていただきます

「広報すぎなみ」や区公式ホームページ等で、お名前と寄附額を公表させていただきます。（希望者のみ）

その3 事業報告書等をお送りします

1万円以上のご寄附をいただいた方には、基金を活用して実施した事業の報告書や事業実施者が開催する報告会のご案内をお送りしています。

杉並区児童青少年課【受付時間：平日 8:30～17:15】
TEL: 03-3393-4760 FAX: 03-3393-4714 〆: jisedai-ikusei@city.suginami.lg.jp

杉並区 令和6年度 次世代育成基金 活用事業 実施報告書



令和6年度にいただいたご寄附

1,907件 39,574,831円

ご支援ありがとうございました。

杉並区次世代育成基金は、次代を担う子どもたちが、自然・文化・芸術・スポーツなどさまざまな分野における体験・交流事業への参加を通して、視野を広げ、将来の夢に向かって健やかに成長できるように支援するための杉並区独自の仕組みです。



区が助成して実施された民間事業

（杉並区次世代育成基金活用事業助成対象事業）

杉並区次世代育成基金活用事業助成とは、杉並区次世代育成基金を活用して、子どもたちの様々な体験・交流事業への参加を支援する民間の法人や団体が実施する取組に対して助成するもので、平成27年度より開始された制度です。

1すぎなみサイエンス Labo2024

実施団体：NPO法人サイン 参加者：小学4～6年生 159名
実施期間：令和6年6月16日～令和7年2月9日（全8回）
事業内容：身近な科学を通じて自己肯定感を育むことを目的とした科学実験教室を開催しました。成績や評価の無い空間の中で自分を解放できる居場所として、子どもたちが発信する素朴な疑問や問いかけと一緒に考えながら、新たな自分を発見し、将来へのモチベーションや生きていく力に繋げる機会を提供しました。

2まもりうたをつくろう!

実施団体：DA / LEDA 参加者：小学4～6年生 16名
実施期間：令和6年7月15日～9月1日（3日間）
事業内容：作詞作曲を通じて自己表現力やコミュニケーション能力を高めるワークショップを実施しました。プロの音楽家による指導のもと、言葉を音にする方法を学びながら自分と向き合い、世界に一つだけの「まもりうた」を作詞作曲し、報告会で発表しました。

3わぐわぐ寺子屋プロジェクト

実施団体：わぐわぐ Works 参加者：小学5・6年生 38名
実施期間：夏編 令和6年9月21日～9月23日 冬編 令和7年2月22日～2月24日（各3日間）
事業内容：「自分で考えて生きる力を身に付ける」ことを目指す宿泊体験を、新潟県小千谷市で夏と冬それぞれ異なるプログラムで実施しました。参加者が「自分がどう思うか」という考えを促すことで、自然体験活動を通じて自分で考えて生きる力を養う機会を提供しました。

4お笑い芸人と挑戦! 区長と「すぎなみ子議会」～ラフサクブン夏の特別編～

実施団体：NPO法人マナビエル 参加者：小学4～6年生 17名
実施期間：令和6年8月27日～8月28日（2日間）
事業内容：作文の固定観念や苦手意識をなくし、言葉で自分を伝えることの大切さと楽しさを知ってもらうためのワークショップを行いました。プロのお笑い芸人と共に視点を広げ、自分の思いを言語化しながら、グループでまとめた内容を「すぎなみ子議会」として区長に伝え、協働の気持ちと言葉で自分を伝えることの楽しさを学びました。

5夏休み・ちずちりワークショップ

実施団体：東京カートグラフィック株式会社 参加者：小学4～6年生 28名
実施期間：令和6年7月27日、8月3日、8月17日（全3回）
事業内容：地図を使って世界や地域、災害の学びを深め、地図地理への親しみを促す親子ワークショップを行いました。ハザードマップゲーム、手作り国旗・ガイドマップ作りなどの3種類の異なるワークショップを通じて、子どもたちに楽しい学びと家族とのコミュニケーションの機会を提供しました。

区が主体となつて行われた事業

1 子ども国内交流事業「杉並区・名寄市子ども交流会」〈児童青少年課〉

参加者：小学5・6年生 16名
 実施期間：(名寄市実施) 令和6年7月28日～31日 (杉並区実施) 令和6年8月5日～8日
 事業内容：異なる文化や気候風土、生活習慣などに触れる機会をとおして、体験の幅や視野を広げることを目的に、交流自治体である北海道名寄市と杉並区の子どもたちが、お互いの土地を訪れ交流しました。
 北海道名寄市編では「北国博物館」「旭山動物園」「SL除雪列車キマロキ」などの見学、杉並区編では「東京ドームシティ」「阿佐谷七夕まつり」など都内観光、児童青少年センター「ゆう杉並」でのレクリエーションなどを行いました。



寄付をして
 くれた「さりあり
 がとうございします。
 一生忘れられない思い出が
 できました。

2 子ども国内交流事業「杉並区・東吾妻町子ども交流会」〈児童青少年課〉

参加者：小学5・6年生 15名
 実施期間：(杉並区実施) 令和6年8月18日～20日
 事業内容：杉並区と群馬県東吾妻町との友好都市交流事業の一環として、子ども同士の交流を図り、相互に生活や文化を理解し合うことを目的に、2泊3日で杉並区にて実施しました。子どもたちは互いの自治体に関するクイズを出し合い、理解を深めました。都内見学として「浅草」「お台場」に行きました。浅草からお台場までは水上バスに乗り移動しました。



東吾妻町との交流に参加
 楽しかった。しかも、交流で
 おなちがたのくさまでました。
 すごく楽しかったです。
 なんと、バスは水上バスに初めて乗
 りました。すごく暑が気が付くよ
 く楽しかった。お台場は水上バス
 に乗りもくさまでました。
 ありがとうございしたの
 小5 カズ

3 小学生名寄自然体験交流事業〈生涯学習推進課〉

参加者：小学5・6年生 25名
 実施期間：令和6年12月26日～28日/事前学習会(3回)/学習相談会/学習成果発表会
 事業内容：生活・文化等の違いを認め合う心と探求心、豊かな人間性を育むことを目的に、交流自治体である北海道名寄市に児童を派遣し、寒さの厳しい地域だからこそできる様々な体験プログラムを行いました。名寄市の児童とスノーシュートレッキングや雪遊びで交流したほか、カーリング体験や天文台での天体観測、博物館では北国の自然や文化、人々の暮らしについて学びました。



今回は奇跡的に
 お礼がとうございました。
 そのおかげで名寄に行け
 ました。名寄市ではいろいろな体験
 ができました。例えば、カーリングも体
 験しました。スライダーという物が足
 につけると、すべっていき、本当に楽し
 かったです。帰ったら、もう一度名寄
 に行きたいです。今回は本当にありがとうございました。
 小5 カズ

4 広島平和学習中学生派遣事業〈区民生活部管理課〉

参加者：中学2・3年生 24名
 実施期間：令和6年8月5日～7日/事前学習会(2回)/事後学習会/成果報告会
 事業内容：被爆の実相にふれるとともに、現地の中・高校生との交流を通し、平和の大切さを学び伝えることを目的に、広島へ中学生を派遣しました。原爆ドームの存在感や平和記念式典の厳粛さなど、被爆地・広島でしか体験できないことを学びながら、同世代の仲間たちと交流や議論を深め、平和のために自分たちができるアクション「私の平和宣言」を発表しました。



いつもありがとうございします!!
 私は広島で、平和記念式典参加
 して、平和を学ぶことができました。
 貴重な体験もたくさんしました。
 特に印象に残ったのは、灯籠流し
 での、元安を流れる光が、とても
 美しいです。
 この学習を通して、平和の大切さや
 日々の生活の大切さを学ぶことが
 できました。学びたいです。ぜひ、また
 行ってみたいです。
 小5 カズ

5 交流自治体中学生親善野球大会〈スポーツ振興課〉

参加者：中学2年生 34名
 実施期間：令和6年10月12日～14日
 事業内容：中学生の健全なスポーツ精神を培うとともに、国際理解・異文化理解を深める契機とすることを目的に、杉並区と交流のある台湾台北市・福島県南相馬市の中学生と杉並区の中学生が、区内で親善野球大会を行いました。交流夕食会やホームビジット等、直接顔を合わせて交流することで、お互いの地域や文化に触れる貴重な機会を提供しました。



僕たちの活動に賛助していただき
 ありがとうございます。
 皆さんのご支援のおかげでとても
 楽しい思い出がたまたまできました。
 今回の活動で学んだことを、今後学生
 生活に活かしたいと思います。これから先、ご支援
 よろしく願っています!!
 中2 じん

6 チャレンジ・アスリート〈スポーツ振興課〉

参加者：小・中学生・高校生 191名
 実施期間：令和6年8月～令和7年3月
 事業内容：「夢に向かって自らの意志でスポーツを選びチャレンジする子ども」の育成を目的に、実技体験、職場見学を用意し、オリンピック・パラリンピック種目・スポーツに関わる仕事の体験を通じて、スポーツとの関わり方やスポーツの持つ多様な可能性に気付く機会等を提供しました。
 【第1回】新体操、車いすフェンシング
 【第2回】バレーボール、車いすバスケ 【第3回】サッカー、パラバドミントン
 【職場見学】義肢装具士、スポーツ栄養士、スポーツウェア(競技用水着)の商品企画、理学療法士、スポーツアナリスト



次世代育成基金に
 寄付してくれてありがとう
 ございます。
 オリンピックに出た選手に
 会えて嬉しかったです。
 きょうな体験ができました
 4年 おいん

7 中学生海外留学(第12期)〈済美教育センター〉

参加者：中学2・3年生 22名
 実施期間：令和6年8月15日～24日/事前学習会(4回)/事後学習会(3回)/成果報告会
 事業内容：グローバル社会の中でたくましく生きるために、豊かな人間性や国際感覚、英語によるコミュニケーション能力など、必要な資質・能力の形成を目指し、杉並区との交流都市であるオーストラリア連邦ウィロビー市への短期留学を行いました。現地では、現地校での授業体験や課題解決学習、ホストファミリーとの交流などの体験活動を行いました。



次世代育成基金を寄付して
 いただき本当にありがとうございます。
 この体験を通じて、自分たちが
 見つけた課題を、この留学を通じて
 解決していきます!!
 3年 ユウセイ

8 中学生小笠原自然体験交流(第13期)〈済美教育センター〉

参加者：中学生 22名
 実施期間：令和7年3月19日～24日/事前学習会(3回)/事後学習会(3回)/成果報告会
 事業内容：貴重な自然体験や自然に育まれた文化にふれることで、豊かな人間性を育むとともに、環境保全活動の推進役となる世界的視野で持続可能な社会を考えることができる生徒の育成を目的に、世界自然遺産である小笠原村父島を訪問しました。天候にも恵まれ、予定通りシュノーケル体験やビーチクリーニング等を実施することができました。



次世代育成基金
 のおかげで、小笠原で
 とても貴重な体験が
 できました。
 この経験をこれから
 生かしていきます!!
 中学2年 おいん